

# 講 義 要 項

授業科目		地域の看護活動と健康課題		担当者	瀬尾 まどか
区分	単位数	時間数	授 業 形 態		履修年次・前/後
	1 単位	30 時間	講義・民泊体験・共同学習		1年次・後期
授 業 目 標					
人々が暮らす地域、生活の場としての地域について生活者の視点から理解し、地域の特性を解釈することができる。また、地域の特性に関連した人々の健康課題や、地域での生活を支える地域システムについて具体的に述べることができる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 地域とは	個人・家族の生活の場である地域社会について述べるができる。	1. 地域社会とは何か 1) 個人・家族の健康問題を解決するための地域理解 2. 地域社会を理解する視点	3		講義
2. 地域の特徴と暮らし	地域の自然環境・生活環境・医療・教育・交通・消費・文化や風習を知り、人々の生活に影響する要素を関係づけることができる。	1. 人々の暮らしの理解 2. 地域の特徴と生活習慣 3. 地域住民にインタビュー	8		民泊体験
3. 人々の暮らしと地域の関わり	地域で個人・家族がその人らしく健康に生活するための、自助・互助・共助・公助について述べるができる。	1. 暮らしと地域のかかわり 2. 地域共生社会と地域包括ケアシステム 3. 地域での健康維持・増進、介護予防活動 4. 地域の社会資源と連携 5. 支えあって生きるとは	4		講義 共同学習
4. 住まいと健康	暮らし・環境・健康を関係づけることができる。	1. 健康に暮らせる住まいと住まい方 2. 住環境、食生活の変化と健康状態の関係 3. 生活状況と構造	4		講義
5. 地域・在宅看護の対象	在宅看護を必要とする人々について具体的に述べるができる。	1. 地域に暮らすすべての人々 2. 健康状態からみた対象者 3. 発達段階からみた対象者 4. 家族	4		講義
6. 地域のためにできること	地域特性および、人々の生活に影響する要素と関連性をとらえ、健康課題と看護の役割を説明できる。	1. 多様な価値観の尊重 2. 地域の人々の健康を支える 3. 地域の社会資源 4. 人々の暮らしと健康課題 5. 地域マップ	6		共同学習 プレゼンテーション
			修得試験	1	1
参考文献等	1. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護論 (1) 地域・在宅看護の基盤, 医学書院.				
評価	1. 単位修得試験及び授業態度				
備考	実務経験：訪問看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				